

鎌教学第6037号

令和4年3月29日

鎌ヶ谷市学校給食センター運営委員各位

鎌ヶ谷市教育委員会

教育長 皆川 征夫

令和3年度第2回鎌ヶ谷市学校給食センター運営委員会  
(書面議決)の報告について

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
また、日頃から学校給食の運営にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。  
さて、令和3年度第2回鎌ヶ谷市学校給食センター運営委員会(書面表決)の結果について下記のとおりご報告いたします。

記

1 会議成立の確認

委員数 12名

提出数 12名

◎鎌ヶ谷市学校給食センター管理規則第6条の規定に基づき、過半数以上の書面表決書の提出がありましたので、書面による会議は成立しました。

2 議事

議事(2) 令和3年度第1・2・3四半期モニタリングについて

了承します 12名 了承しません 0名

【結果】

上記の議事について、全会一致で了承されましたのでご報告いたします。  
また、いただいたご意見につきましては、別紙にて回答を記載しておりますのでご確認ください。

## 令和3年度第2回鎌ヶ谷市学校給食センター運営委員会（書面開催） におけるご意見について

### 【ご意見】

食に関する指導における学校訪問や、残食率低下への取り組みなどについては、新型コロナウイルスの感染が落ち着く時期を見据えて、ぜひ強化していただきたいです。

個人的な意見ですが、一律前を向いての黙食は、子どもたちにとって楽しいはずの給食時間が緊張の時間になってしまい、消化器官の働きが弱くなり、黙食＝残食増加という結果になってしまったと思います。食育という観点からは、どれだけいい食材を使っても楽しくないと台無しだと思います。子どもの頃の給食時間はその人の一生の食事時間のイメージ形成になります。健康だけでなく、脳や性格、心にも影響を及ぼします。給食の時間が少しでも楽しいものになって、残食率低下へつながってほしいです。

### 【回答】

栄養士による学校訪問や、残食が少ないクラスにお手紙を送る取組など、新型コロナウイルス感染拡大以前に実施していた取組は、現在も実施を見合わせております。

一方で、今年度から日々の給食内容を紹介する「給食一口メモ」を毎日作成し、各校へ周知したり、新たなメニューを給食に取り入れたりすることで、給食時間の充実を図っております。また、来年度に向け学校訪問等の食育活動について計画を作成しております。

今後も、新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、子どもたちの食への興味関心を高め、さらなる残食量低下を実現できるよう、取り組んでまいります。